

サポセン通信 2月号

2019年2月発行

長岡京市
市民活動サポートセンター発行
指定管理者:
市民活動ネット・チーム長岡京
TEL:075-963-5505
FAX:075-963-5523

～今年も絵馬が皆様をお迎え！～

毎年恒例となっております干支（猪）の絵馬をお願いしたところ、たくさんの皆様から抱負や目標を記入していただきました。サポセン入り口に掲示させていただきましたが、内容は昨年自然災害が多かったため、無病息災を願う内容が多かったように思います。



全ての皆様が明るく楽しい活動が出来ますようにサポセン役職員も願っております。

～「シニアの心を動かせ！」～

“シニアがボランティアをはじめると＝入り口”と“地域の活動へつながると＝出口”を考える。

サポセンを運営している「市民活動ネット・チーム長岡京」では、「人生100年時代」を迎え、元気なシニアが増加し、個人のライフステージは多様化している。そんなシニアをボランティア活動へと結びつける“入口”とは？そして、そのシニアが地域活動へと向かう活動の“出口”とは？

シニアの生涯学習にとどまらず、社会課題に取り組むアクティブシニアの心を動かすきっかけを、実際にシニアと関わっているコーディネーターや地域で活動しているシニアの話聞くシンポジウムを開催します。

どなたでも自由に参加できます。（無料）

開催日時 2月23日（土）10時～12時

開催場所 ハンビオ1番館6F 創作室1

※準備の関係で事前申し込ただけであれば助かります。

“サポセンからのお知らせ”

サポセンを利用する方にハンビオ市営駐車場の駐車券を軒旋いたします。

20分券 100円/枚 ⇒ 70円/枚

終日券（出・入庫自由）900円 ⇒ 800円

必要な方はサポセン窓口にお越しください。

※20分券は10枚まで、終日券は2枚までとします。

“サポセンからのお願い”

サポセンでは平成31年度の事業計画を作成する時期を迎えています。サポセンの事業計画に、あんな事業・こんな支援など、入れてほしい内容がありましたら、是非ご提案ください！

例えば「NPO会計について」のセミナー開催や「どこかと合同でイベントを開催したい!」、「〇〇の支援をして欲しい」、「パソコンなんでも相談」など、どんな些細なことでも結構ですから、サポセンにご相談ください。

～FM おとくにでイベント紹介～

昨年12月に開局したコミュニティラジオ「FM おとくに」で団体のイベント案内をしませんか！



サポセンでは「FM おとくに」のお知らせコーナーで、市民活動団体のイベント案内のお手伝いをしています。案内して欲しい団体はサポセン窓口を設置のFM おとくに放送申込書に必要事項を記入して申し込んでください。

申し込みは、イベント開催の概ね1ヶ月位前～1週間前までをお願いします。

放送はFM おとくにの都合で日程が決めますが、イベントが天候などの関係で中止になった場合は期日は問いません。

尚、営利を目的とした内容や宗教・政治がらみの内容はお断りします。

～今後のイベント予告～

① 分野別交流会（〇〇づくり）

普段は単独で活動している「〇〇づくり」の活動を、他団体の活動と交わり合う時間を共有する事で沢山のヒントを得て、より楽しく活気ある団体づくりのきっかけになればと思います。

② 団体交流会 & 活動発表会

毎年恒例の活動団体の発表会（市の補助金交付団体とサポセン登録団体）と、団体同士の交流会を開催します。① ②とも、日程が決まればメール等でご案内します。



【NPO 法人乙訓障がい者事業協会】

【カフェ エポカ】

長岡京市指定管理者として、H17年からNPO法人乙訓障害者事業協会が運営を受託しています。

喫茶サービス営業により障がい者への実習訓練の機会創出および就労支援を行い、障がい者ひとりひとりの成長を見守りつつ、限られたスペースの中で多くの方が力を合わせて働いています。日々の丁寧さにこだわり、何よりお客様へのサービスにも心がけています。



人気メニューは、挽きたてのコーヒー、オムライスやワッフルセットです。

バンビオにお越しの際は、是非お立ち寄りください。

営業時間：8:30～18:00（年中無休 12/29～1/3 休）
同様に、長岡京市指定管理者として『ふれあい町家』も運営させていただいています。



「手づくり郷土賞」を受賞して

サポセン事務局から発信する各種団体の助成金募集の情報の中に、主催・国土交通省で平成30年度（第33回）「手づくり郷土賞」募集があり、応募したところラッキーにも受賞できました。

全国では20団体が受賞し、12月16日に東京国際交流館にて「手づくり郷土賞記念発表会」が開催され、参加しました。当初の案内では、発表3分、質疑応答3分（時間厳守）、各団体2名以内との条件でしたから、気軽に臨みました。始まってびっくり仰天、各団体で多いところは8名も参加、発表者以外が舞台でのパフォーマンスで取り組み内容のPRに努め、観衆にアピールしていました。その意気込みはすごいもので、地方ほど自分たちの力で地域を何としても活性化したいとの気概に溢れていました。国土交通省の支店にあたる各地方整備局も力の入れ方は

【桂川流域クリーンネットワーク】

平成19年、河川レンジャーを中心に桂川流域の市民団体、企業、自治体、学校等26団体、450人が、参加して第1回桂川流域クリーン大作戦が始まりました。以後回を追うごとに清掃エリア、参加団体、参加者数を増やし、昨年実施の第11回では、日吉ダムから島本町に至る桂川の両岸24のエリアで、225団体、3600人が参加して河川敷の一斉清掃を実施しています。桂川は都市河川としては珍しく、川魚、野鳥、野草、昆虫など豊かな自然と触れ合える川です。「みんなでゴミの無いきれいな桂川にしましょう」を合言葉に、



あなたも参加してみませんか。

「第12回桂川流域クリーン大作戦」中下流域 2019年2月24日（日）9:00～実施予定（詳しくはサポセンにおいてあるパンフレットをご参照ください）



桂川流域クリーンネットワーク

桂川流域には様々な生き物（川魚、野鳥、野草）が生息しています。人と生物が生き生きと共存できるよう桂川の環境を守りましょう！

「第12回桂川流域クリーン大作戦」中下流域 2019年2月24日（日）9:00～実施予定（詳しくはサポセンにおいてあるパンフレットをご参照ください）



相当なもので、各団体に寄り添って参加していましたし、地方行政も協賛で大いに関与していました。言い換えれば地域、行政、企業/学校等が三位一体となって地域おこしに力を注いでいます。今後の地域のあるべき姿を示している活動のように感じました。受賞された地域に比べて恵まれている当地ですが、市民活動と行政が今まで以上に絡みあえば、まさに「かしこ暮らしっく長岡京」に成長するでしょう。期待しています。

